

中央労福協 2021 全国福祉強化 キャンペーン取組方針《ダイジェスト版》

コロナ禍におけるキャンペーン2年目と位置づけ、ポストコロナ社会を見据え、地域活動の実践を着実にすすめていくとともに、労福協運動の社会的存在を高め、労働者自主福祉運動の社会的存在を高め“共助の輪”を地域に広げます。

目的 「今こそ、労福協の力を。」を合言葉に、地域活動での実践を着実に進め、労働者自主福祉運動の社会的存在を高め“共助の輪”を地域に広げます。

全国共通テーマ

- ①労働者福祉運動で、‘共助の輪’を地域に広げよう！
- ②生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう！

強化期間：10月～11月

I. 重点活動

1. ミニマム行動（全国統一行動）

(1) 奨学金に関する取り組み

- ①【全国一斉相談】2021年11月11日（木）に全国各地で電話相談を実施する。
- ②【オンライン署名】教育費の負担軽減の税制支援を求めるための世論喚起を図る。

(2) 自治体要請行動

- ①「2021年度 政策制度に関する要求（ひな形）」を活用し要請活動を展開する。
- ②当該自治体の支援策の情報提供やネットワークによって相談者の支援を行う。

(3) 労金協会、こくみん共済 coop等との連携

- ①【労金】「生活応援運動」「多重債務者・奨学金返済困難者への対応」を展開する。
- ②【こくみん共済coop】「災害時無保障者の解消」「防災・減災運動」を展開する。

2. チャレンジ行動

(1) 地域活動の実践

- ①全国研究集会のテーマ「コロナ禍や大規模災害を乗り越える地域コミュニティの再生」の考察を踏まえた地域活動の実践を検討する。
- ②地域コミュニティへの参加や協同組合・NPO団体等との連携を試行する。

(2) リモートやWebを活用した研修会の実施

- ①各地方でリモートを活用した研修会や会議等を独自に開催するスキルを習得する。
- ②ポストコロナ社会を見据え、リモート会議での“リモート会話慣れ”を図る。



II. 利用促進・共助拡大の活動

1. 労働団体への要請

労働組合と福祉事業団体が「ともに運動する主体」としての関係を再認識するために、組合員への周知をはかり接点機会を設ける。

2. 事業団体との連携

ろうきん・こくみん共済 coopや、中小企業勤労者福祉サービスセンターとの連携により、協同組合間協同を強化し、周知活動や相互利用促進をはかる。

III. 中央労福協と連携した取り組み

1. 加盟労働団体トップ訪問との連携

中央労福協が実施する加盟労働団体訪問（9-11月実施予定）、地方においても産別地方組織ならびに単組等に対してキャンペーンの要請を行う。

2. ろうふくエール基金の活用

「ろうふくエール基金」による資金助成を有効に活用し、キャンペーンのより一層の充実を図る。



3. 研修用教材（スライド版）の活用

各ブロック・各組織において、若年層への教育研修を実施し、中央労福協のこれまでの活動や2030年ビジョンなどを盛り込んだ研修用教材（スライド版）を活用する。

4. ライフサポート実務者・相談員研修への参加

2021年10月28日開催予定の「LSC実務者・相談員研修」に参加し、ライフサポート活動の充実を図る。

5. 生活困窮者自立支援 相談員‘交流会’への参加

「オンライン交流会」に参加し、相談員間で横の連携・親睦を深める（11月17日開催）。

6. リモートやWebを活用した研修会・会議等の実施

リモートスキル《基礎編》の向上に向け、地方労福協、ブロックに対してサポート（個別相談や支援等）を行う。